

Q.13

【目的】

「健康経営を実施すること」と自社理念である「尊厳に立つ」(＝先ず働く人を大切にする、その結果として、自ずとご利用者の尊厳は大切にされる) という人を大切にする活動とが繋がり、身体的・精神的健康増進に繋がることを目的としている。

【体制】

困りごと・悩みごと等については、常時各セクション長が部下の様子に配慮して話を聴く社内体制を整えている。更に高い専門性を必要とする相談ごとに関しては、経営者・担当者が窓口となり、健康経営アドバイザー・社会保険労務士に相談する体制を確保している。

【具体的取組】

◎健康診断受診率 100%

◎インフルエンザ予防接種集団実施を社員とその家族に対して実施している。

(予防接種費用半額を全職員に支給)

◎その結果、2018年度は従業員のインフルエンザ罹患者数ゼロ。

入居者の罹患者数もゼロ(5年連続ゼロ)を達成。

Q.56

介護事業はチームケアで成され、多職種連携によって行われる事業であり、質の高いケアの提供には、職員間に於ける相互の信頼関係構築は必須である。

「コミュニケーションの場」や「サークル活動の場」等を意識的に設けることによって、普段の就労中に会話を交わすことの出来ない職員同士や法人内他部署の職員同士に交流が生まれ、以て組織の活性化を図り、最終的には企業の持続的な成長へ繋げたい。

Q.59

《レビュー結果や改善方針に基づき、必要な改善策(体制・施策等の改善含む)を検討》

[課題1]従業員の感染症予防(インフルエンザなど)

⇒職員がインフルエンザで休みを取った日数はゼロ日。

⇒職員の健康診断受診率100%達成。

[課題2]従業員の喫煙率低下

◎「職員の喫煙に関するアンケート調査」・集計・課題分析を実施。

◎分煙の徹底と、休憩時間のみの喫煙の徹底は実行されている。

しかしながら、目標とする喫煙率低下までには至っていない。

⇒「ストレス解消には喫煙は必要」と考える職員が存在し、個人の選択の自由を尊重するところで議論が止まっている。ただ今喫煙職員の意識改革と行動変容を模索中。

[課題3]従業員間のコミュニケーションの促進

◎地区バレーボール大会優勝

◎鹿児島市老人福祉施設協議会主催ソフトボール大会2年連続優勝(2018年・2019年)

◎鹿児島県介護技能コンテスト第一位獲得